

## 令和3年度オンライン「品質工学」講座参加者募集 ～やさしく学ぶ品質工学（タグチメソッド）～

従来の品質管理では不十分であった製品事故の未然防止や再発防止を図るためには、品質工学は役に立つツールです。しかしながら、品質工学を学んだが、実際に活用できていない場面やどのような場面に利用したらよいか分からないなどの声が多く聞かれます。

品質工学は、技術開発・新製品開発の効率化、製造方法の改善に有効であり、重要な技術戦略手法のひとつです。

一昨年度に続き一関市の支援事業として、今年度はオンラインで「品質工学」講座を実施いたします。設計・製造品質の向上と、開発活動の効率化のためにも是非ご受講下さい。

### [オンライン品質工学講座について]

今年度は、品質工学基礎、機能性評価、パラメータ設計をメインに演習を織り交ぜて学びます。オンライン講座ですので移動等なく受講できます。是非ご参加下さい。

### [品質工学講座の対象者]

開発設計、生産技術、品質保証などものづくりに携わる技術者の皆様を対象とします。これから品質工学を学ぼうとする方だけでなく、品質工学を学び始めたが先に進まないという方にもお勧めいたします。

第1日；10月19日（火）14時～16時

品質工学をはじめる前に(1)

第2日；10月21日（木）14時～16時

品質工学をはじめる前に(2)

第3日；10月26日（火）14時～16時

機能性評価（1）

第4日；10月28日（木）14時～16時

機能性評価（2）

第5日；11月 2日（火）14時～16時

パラメータ設計（1）

第6日；11月 4日（木）14時～16時

パラメータ設計（2）

※）お願い：受講においては、エクセルの入ったPCをご用意ください。

『品質工学をはじめる前に』では、機能性評価とパラメータ設計を理解するために必要と思われる事柄を予備知識として紹介します。

『機能性評価』は、製品が使用環境や劣化などの影響に対してどれだけ安定か比較する手法です。

『パラメータ設計』は、製品が様々な使われ方をしても問題が発生しないようにする手法です。

会場： ネットで講義を配信いたします。受講者各自インターネットでの受講となります。

※講義の録画や資料の無断使用等は禁止とさせていただきます。

募集定員： 20名（先着順）（申し込み後、振り込み先、アクセス方法等をお送り致します。）

参加費： 2,000円（講座6回全体で）

募集期間： 2021年10月15日（金）まで

お問い合わせ・申し込み：

一関工業高等専門学校 ものづくり産業振興事業 事務補佐員 佐藤

〒021-8511 岩手県一関市萩荘字高梨

TEL：0191-24-4708（ダイヤルイン） FAX：0191-24-4788

Eメール：sato-toshi@ichinoseki.ac.jp

## 【講師紹介】 小野 元久氏（宮城教育大学 名誉教授）

1950年3月生まれ、仙台市出身。宮城教育大学、秋田大学鉱山学部機械工学科卒業。

専門は、品質工学と機械加工学、著書に「基礎から学ぶ品質工学」（日本規格協会、2013年、編著）、「統計基礎からはじめる品質工学入門」（日本規格協会、2020年）、をはじめ分担執筆がある。

1991年、品質工学に触れて以来、品質工学会編集委員会委員、品質工学会監事、東北品質工学研究会会長などを歴任する中で、品質工学の有効性を認識し、講演、セミナー、技術指導などを通して品質工学の有効性を主張している。

===== 下記必要事項を記入し切取らずこのままFAXまたはEメールにてお送り下さい =====

今後セミナー情報などの送付に、メールアドレスを使用して良い場合は、情報送信の登録を認めるの“□”欄にチェック下さい。

Eメール：[sato-toshi@ichinoseki.ac.jp](mailto:sato-toshi@ichinoseki.ac.jp)

一関高専 ものづくり産業振興事業

FAX：0191-24-4788

事務補佐員 佐藤 行き

## 令和3年度 オンライン「品質工学」講座 申込書

令和3年 月 日

下記のとおり申し込みます。

会社名

〒 \_\_\_\_\_

所在地

連絡ご担当者

所属

役職

TEL

FAX

E-mail

情報送信の登録を認める□

1、受講者氏名 ふりがな

TEL

FAX

所属

役職

E-mail

情報送信の登録を認める□

2、受講者氏名 ふりがな

TEL

FAX

所属

役職

E-mail

情報送信の登録を認める□

3、受講者氏名 ふりがな

TEL

FAX

所属

役職

E-mail

情報送信の登録を認める□

実践して効果を上げるには、出来るだけ複数名の参加が望まれます。コピーしてお申し込み下さい。

## ○講義内容の詳細

第1日 10月19日(火) 14:00～16:00

第2日 10月21日(木) 14:00～16:00

### ○品質工学をはじめの前に～品質工学の手法を理解するための基礎～

品質工学の手法は多岐に渡っていますが、機能性評価とパラメータ設計を理解するために必要と思われる事柄を予備知識として紹介します。

【内容】品質工学の紹介、誤差と誤差の発生要因、分散分析の導入と2乗和の分解、多元配置による実験計画、直交表、SN比

第3日 10月26日(火) 14:00～16:00

第4日 10月28日(木) 14:00～16:00

### ○機能性評価

機能性評価は、製品が使用環境や劣化などの影響に対してどれだけ安定か比較する手法です。機能性評価による評価方法を徹底することで製品を評価する時間を短縮し、技術課題を解決するための評価技術が身に付きます。

【内容】機能性評価とは、機能性評価を使いこなすために必要な知識、機能性評価を実施することのメリット、機能性評価の実施が想定される場面、機能性評価の考え方、機能性評価の進め方、誤差因子の調合、機能性評価の例

第5日 11月2日(火) 14:00～16:00

第6日 11月4日(木) 14:00～16:00

### ○パラメータ設計

パラメータ設計は、製品が様々な使われ方をしても問題が発生しないようにする手法です。パラメータ設計を業務に展開することで、業務の効率化を図るとともに、パラメータ設計を実施した結果から得られる様々な技術情報は、その後の業務展開に大きなメリットを与えます。

【内容】パラメータ設計とは、パラメータ設計を使いこなすために必要な知識、パラメータ設計を実施することのメリット、パラメータ設計の実施が想定される場面、パラメータ設計の進め方、システムの出力の調整、パラメータ設計の例